

質問日	令和4年12月2日(金)		質問方式	分割方式			
質問順位	7	会派名	公明党	議席番号	7	氏名	山崎 とし子
表 題	質 問 内 容					答弁者の職名	
1 浸水被害対策を強化するために	<p>今年9月初めの短時間集中豪雨や、台風第15号の影響で大規模な洪水が起こり、かつての七夕豪雨以来の水害で大変危機感を持っている。私の住む馬込川上中流域において、床上浸水した地区があり、70年住んでいて初めてと言う人もいた。毎年局地的な線状降水帯が発生し、どこで起こってもおかしくない状態にまでなっている。このような水害を起こさないために、万全な治水対策が早急に求められている。そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 馬込川上中流域における浸水被害の発生原因の分析について、また分析データの活用について伺う。</p> <p>(2) 台風直後における側溝や排水路への堆積土砂撤去など、初期対応体制と市民からの通報の対応について伺う。また、今後、堆積土砂撤去を進めていく必要があるが考えを伺う。</p> <p>(3) 土のうステーションの活用は誰でもできるが、高齢者には負担が大きいと、高齢者にも易しい浸水対策はないか、考えを伺う。</p> <p>(4) 流域治水の取組として、馬込川上中流域における治水プロジェクトの浸水対策メニューの前倒しや見直しへの考え方を伺う。</p> <p>(5) 浸水被害が起こった後の災害ごみの撤去、災害ボランティアの派遣、罹災証明書の申請などの被災者支援体制はどのような状況だったのか伺う。</p> <p>(6) 9月2日や9月23日の大雨により、床上浸水した住居に止めていた車も被害を受け、廃車または修理を余儀なくされ、代車も不足する事態が生じた。浸水が生じた地域の住民からは、避難情報が発令された際など、車を避難させたいといった声をよく聞く。このような人に対し、市はどのような対応をしているのか伺う。</p>					伏木土木部長 " " " " 小松危機管理監 "	
2 「ネットいじめ」の現状と対策について	<p>令和3年度の文部科学省調査で、小中高校などでスマートフォンや交流サイトを通じた「ネットいじめ」として認知された件数は過去最多の2万1900件となったとの報道がされた。タブレットが1人1台使用できることになり、インターネット利用時のモラル教育をどのようにしているのか心配である。そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 本市におけるインターネット上でのいじめ件数と状況を伺う。</p> <p>(2) 全国の学校現場で、端末の使用ルールについて子供</p>					田中学校教育部長	

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
<p>3 浜松市アクトシティ音楽院について</p>	<p>たちが主体となって見直す取組が始まっているようだが、本市ではインターネット上でのいじめをなくすためにどのような対策を行っているのか伺う。</p> <p>市長が学院長を務めるアクトシティ音楽院は平成10年の開校から25年になる。毎年開催するアカデミーでは、ピアノ・管楽器奏者が多く受講し、令和3年度までの24年間で3574人が修了している。音楽人材の輩出に貢献するアクトシティ音楽院がさらに発展していくことを期待している。そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 音楽の都として未来のまちづくりを担う人材の育成が重要と考えるが、アクトシティ音楽院の現状と今後の展望について伺う。</p> <p>(2) 各学校の申込みで希望通りの様々なコンサートや指導者派遣を実施していることは高く評価できる。これはコロナ禍の中で感染対策ができたからであると思う。特にアクトシティ音楽院講座終了生演奏会については、年10回程度のコンサート中、学校訪問は5回だったと聞くが、今後さらに音楽家が学校訪問するコンサートや指導を増やすことはできないか伺う。</p>	<p>嶋野文化振興担当部長</p>
<p>4 子供の健康と医療施策について</p>	<p>今年度、浜北区及び天竜区の集団における3歳児健診で屈折検査を実施できるようになったことは大変評価している。日常生活では気づかれない屈折異常や斜視に伴う弱視は、3歳児健診において屈折検査機器を用いて早期発見し治療に繋げることで、就学までに治すことができるため、屈折検査は必要だと考える。全ての区における3歳児健診時に屈折検査を受けられるようにすべきと考えるが、見解を伺う。</p>	<p>鈴木医療担当部長</p>
<p>5 電位治療器の更新について</p>	<p>老人福祉センター（現ふれあい交流センター）建設時から設置されている電位治療器は、現在でも、高齢者にとっても人気があり利用者が多いと聞いている。しかし、古いもので42年ほどが経過しているものもあり、その間、適切にメンテナンスを行っているが、座椅子の破損や、電気の放電による効果の半減などを聞いている。そこで、使用ができなくなった治療器から更新が必要と考えるが以下伺う。</p> <p>(1) 現在設置されている電位治療器の利用者数はどのくらいか伺う。</p> <p>(2) 電位治療器は高齢者の健康維持に役立っている機器であり、更新すべきものは毎年少しずつでも予算をつけて更新していく必要性を感じるが、見解を伺う。</p>	<p>山下健康福祉部長</p>
<p>6 帯状疱疹ワクチン接種補助について</p>	<p>帯状疱疹ワクチンの助成制度は、全国で約40の市町村で導入しているようだが、政令市では名古屋市が令</p>	<p>鈴木医療担当部長</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
て	<p>和元年度から導入している。名古屋市の例では、50歳以上の人を対象に2種類のワクチンの助成を行っている。また、和歌山県田辺市では、65歳と70歳に限定し1回のみワクチン接種を助成、東京都文京区では期間が1年間限定で、1回1種類のみワクチン助成等、助成制度は様々である。50歳以上の約2割の人に長い間痛みが残る帯状疱疹後神経痛（PHN）になる可能性があり、日常生活に支障を来す場合があるため、ワクチン接種によって予防していくことが望まれている。</p> <p>9月定例会における我が会派の代表質問に対し、本市では国が定期予防接種に位置づけた時点で実施するとの答弁だったが、70歳現役都市を目指す本市の市民が元気に生活できるよう、段階的に助成を検討できないか伺う。</p>	
7 多様な人材の活用について	<p>(1) 女性の在宅就労支援について 社会において多様性を尊重する社会的気運が高まっている。また、労働市場においても多様性が求められている。特に出産育児、後には親の介護が必要になった場合に、仕事を続けることが難しい状況が課題であると感じる。</p> <p>そこで、女性が在宅でも仕事ができるよう就労支援を行っていく必要があるが、本市の取組を伺う。</p> <p>(2) 外国人留学生について 少子化で、労働世代が減っていく中、外国人材にも本市で活躍してもらう必要性があると考え。静岡県令和3年度外国人卒業生は302人で、国内残留者は205人、そのうち県内就職者は33.2%の68人と少ない。外国人留学生が卒業後本市に就職してもらうための今後の取組を伺う。</p> <p>(3) シニア専用デスクについて 本市は70歳現役社会を目指している。シニア世代が無理なく働ける環境づくりが必要であり、働き方の工夫をしていくことが必要であると考え。今年度からハローワーク浜松と市の一体的事業として、シニア専用デスクを市役所本館2階に開設したが、これまでの実績と今後の取組を伺う。</p>	藤野産業部長
8 旧教育文化会館の建物及び跡地の今後について	<p>(1) 附帯設備の活用について 旧教育文化会館は、令和元年12月に設置条例が廃止され建物の解体に向けて準備が進んでいる。また、同会館には、内部壁面のレリーフや舞台装置などの附帯設備があるが、これら設備について、必要であれば何</p>	嶋野文化振興担当部長

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>らかの方策をもって、後世に伝えていくことも考慮すべきと考える。そこで、建物の解体に向けた今後の動きと、附帯設備等の生かし方について伺う。</p> <p>(2) 跡地利用について</p> <p>旧教育文化会館がある土地は、諏訪神社の旧境内地であり、隣接地には児童会館があった。多くの人々が集った過去のありようを踏まえるなら、跡地を民間に売却せず、例えばフリーマーケットや野外イベントができるような市民憩いの広場として整備するよう提案するが、跡地の歴史的経緯と、今後の跡地活用の方向性について伺う。</p>	